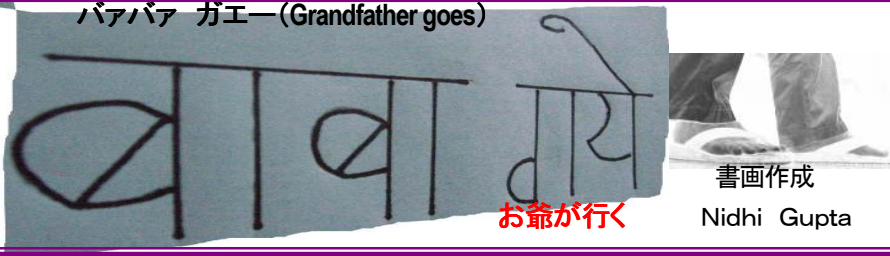


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く

書画作成

Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

http://iwvs.web.infoseek.co.jp

現地 PM 加藤 伸也

2009年12月14日 発行 第28号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

◎◎ 霧深き朝 ◎◎

写真は何故か「冬の摩周湖」元旦だけバスが出ました(40年前)



ここ最近霧の深い日が続いています。木の葉や草にベトリと水滴が付いています。霧が出ているから少しは暖かいと思いきや、さにあらずで寒い朝です。7m先が見えません。太陽があたってくると、ジワジワと消え去ります。

こんな日が冬のシーズンは続きます。飛行機が飛べない日もあります。まだ今は大丈夫だと思いますが、来年になれば3月までは飛行機のキャンセルも出てくるでしょう。

しかし、妊婦学校にはキャンセルはありません。霧深き今日ですから、人々の動きは少なく余り参加はありませんでした。それでも23人が参加してくれました。

さすがに頭シラミの診察に来る子供は少なく14人止まりでした。

この日はドライバーが休日なので足の確保が出来ません。学校訪問は中止となりました。学校に訪問すると外国人が来ることは珍しいのでしょうか。興味津々の姿が伺えます。日本NGO「マイत्री会」が教育活動をしているので日本人は珍しくはないかも知れませんが、また違う人間が来たと言うことは珍しいのでしょうか。

しかも、Babaが来たから「何だこいつは」かも知れません。これも一つの印象に残る教育活動かも知れません。Babaも進駐軍が来て、DDTを頭に振りかけられたことを未だに記憶に残っていることから、外国人が「なんか手洗いで来た」と記憶に残ってくれれば嬉しい限りです。大人になれば手洗いの意味が分かってくれることでしょう。

◎◎ インドのお札 ◎◎

お札のガンジーが泣くかも

ガンジー曰く「見ざる、言わざる、聞かざる」に如か—ず

どこの国にもこういう人がいますね。偶然Babaの手に入りました。絶対にBabaは書いていません。手元に置いても価値は上がらないのでさっさと使いました。落書きは無関係ですが、500Rs以上のお札はなかなか手厳しくチェックされます。

まず、透かしの有無、破れているかのチェックをします。15mm位破れていたらポツイと返却されました。スタッフにどうしよう、と相談したら病院で交換してくれました。その後そのお札がどうなったか、Babaは知りません。



ホッチキスの跡?

一方で、10Rs札が完全に破れていても、テープを貼れば使えるそうです。銀行では交換不可とのことです。

病院でサラリーを払うとき、お札に名前、金額を書き、さらにピンで刺したり、ホッチキスで留めたりして、サラリーを渡しています。まあ、それ位「お札の厚みがない：サラリーが安い」と言うことですかね…。確かに、携帯番号らしき物が書いてあったりします。まるでお札は貴重なメモ帳代わりと言えます。NO Problem の国らしいですね。

インドの小さいお店で買い物するときは必須条件があります。それは、「小銭」です。間違っても500Rs以上を出さないことです。おつり探しで大騒ぎになり、近所の店また店を尋ね周りお釣り探しをしてくれます。挙げ句のはてには買い物拒否になります。100Rs札でもその可能性はありますから注意が必要です。

まあ、それ位生活が厳しく100Rs札以上を使う村民は少なく、そして裏返せば品物の価格が安く、結果的に手持ちの釣り銭単位も小さいことに起因するとも言えますが……。

◎◎ 日本語教育 ◎◎

何事も学力は小さい内からですね

Drに3歳の子供がいます。日本語をBabaが教えています。Drが診察に出かけるときに「イテキマス」と言います。子供に「イテラシャイ」と教えました。今では上手に言えます。Babaは子供が悪さをしたときに、「オシリペンペン」と言って実行しています。子供が親に「オシリペンペン」と言ってどうも実行しているようです。Babaは口癖で「ヨイシヨ」と言っています。子供も真似をしています。「イタタキマス」、「オハヨゴザマス」も言えます。Babaの退化力は凄い！が、

子供の発達力、記憶力は本当に凄い！。 Babaの英語力は本当にひどい！！。